



# 兵庫県立大学 研究シーズ紹介 リモート／ハイブリッド方式

聴講  
無料

参加対象者：最先端研究に興味のある方・産学連携をお考えの方

オフィス・自宅で最先端研究シーズを聴ける（リモート）  
会場で質問・名刺交換も可能（ハイブリッド方式で会場参加の方）

## 今回聴講募集

日時	講師	講義内容	講演形態
10月9日（水） 17～18時	1: 工学研究科 奥田萌莉 助教	AIと植物の未来：画像一枚で読み解く成長の秘密	リモート
	2: 社会価値創造機構 柴野伸之 教授	VR（バーチャルリアリティ）と街づくり	
12月11日（水） 17～18時	1: 工学研究科 潘 振華 准教授	光触媒による太陽光燃料の製造	ハイブリッド予定 （会場後日連絡）
	2: 工学研究科 瀬戸浦建仁 准教授	光ピンセットによるナノ物質の捕捉および輸送	
2月12日（水） 17～18時	1: 国際商経学部 磯貝茂樹 准教授	動学ゲームにおける均衡選択と、その談合、カルテルへの応用	ハイブリッド予定 （会場後日連絡）
	2: 情報科学研究科 土方嘉徳 教授	推薦システムにおける推奨者提示が推薦受容に与える影響	

### 【講演要旨】

奥田萌莉 助教：

本発表では、近年急速に発展しているAI技術を用いた植物の画像解析について紹介します。特に深層学習モデルなどの機械は、どのように植物の画像からその特徴や状態を判断しているのでしょうか。AI技術の進展に伴い、植物科学の分野でも新たな可能性が広がっているといえます。最近の動向と今後の研究方向性を通じて、AIと植物科学の未来に対する理解を深め、さらなる研究や応用の可能性について考えるきっかけにさせていただきたいと考えています。

柴野伸之 教授：皆様のVR（バーチャルリアリティ）というワードの印象はいかがなものでしょうか？「VRってゲームでしょ」の印象でしょうか。確かに、メガネ形状やゴーグル形状のモニターを装着してゲーム、はVRの最も汎用的な使い方です。でもVRはゲーム以外にも事業貢献している事例あるんです。VR事業として街づくりの事例を紹介します。合わせてVRというワードがいつ登場したのか、経緯などもお伝えします。直近ではメタバースの活用にも取り組み始めていて、新たな活用方法検討などご紹介したく思います。もしもニーズをお持ちであれば一緒に検討させていただけると幸いです。

【主催】 兵庫県立大学社会価値創造機構

【共催】 はりま新産業創出エコシステム

【お問合せ】 兵庫県立大学社会価値創造機構

[sangaku@hq.u-hyogo.ac.jp](mailto:sangaku@hq.u-hyogo.ac.jp)

079-283-4560

【聴講申込】

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSflq-g6Dcbhb1EyKsUerjgMC3ym9PWfuc2pJCL4TjscLL6YVg/viawform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSflq-g6Dcbhb1EyKsUerjgMC3ym9PWfuc2pJCL4TjscLL6YVg/viawform?usp=sf_link)

